

本・つ・く・り・支・援・情・報・紙

創刊号

【秋号】

Yururi
Heartful salon

自費出版サロンゆるり

〒850-0875長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F

☎095-828-1790

◎制作・発行/ 株式会社 昭和堂



CONTENTS

自費出版◎体験記
私と本づくり

「おふくろの味長崎四季料理」

島田昌子さん

詩集「渥仰の廻路旅」

山口宏さん

なごみの
本づくりサロン
長崎に誕生!

誰もが「本づくり」をもっと
身近に感じてほしいから。

このたび、自費出版サロン「ゆるり」を、長崎眼鏡橋すぐそばにオープンいたしました。これまで昭和堂がお手伝いさせていただきました自費出版本の数々を、手にとつてご覧いただけます。どれも地元長崎の方々が出版された本ばかりですので「あら、あの方が出された本だわー」なんてことも…。あなたの創作意欲を刺激する、一冊に出会えるかもしれません。

サロンでは、エッセイや自分史づくりの資料も取りそろえ、お客様のご予算に合わせた本づくりの企画から、書店への取り次ぎに関することまで、「本づくり」に関するすべてのサポートをいたしております。

「ゆるり」とは、「囲炉裏」の意味。囲炉裏を囲むようにゆっくりゆるりと、本に親しんでいただけるように、との願いが込められています。皆様のコミュニティスペースとして、末永く愛されるサロンを目指したいと考えています。是非、お近くにお出かけの際には、「ゆるり」に足を運んでみられませんか。

皆様のお越しをお待ちいたしております。

Opening Message

(株)昭和堂 自費出版サロンゆるり

主幹 原口 正人



サロンゆるりへのお問い合わせは、裏表紙をご覧ください。



生きること。それは、 自分の心を満たそうとする 果てしなく続く渇仰(かつごう)の旅。

渇仰(かつごう)とは、水に渴した人が水を慕うような心——。
そんな、貪欲な創作意欲で、今回で5冊目の本を出版された山口宏さんをご紹介します。

『渇仰の遍路旅』山口宏さん



私と

自費出版◎体験記

第1回

本の



この本の
ここがステキ！
島田さんの料理は、「見詰って
いそうな料理も、レンジを見ろ
と」ともシンプル。研究を重
ね重ねて、洗練されたレシピ
だからこそなのでしょう。
ページをめくるたびに、
なつかしいお母さんの
味が広がります。



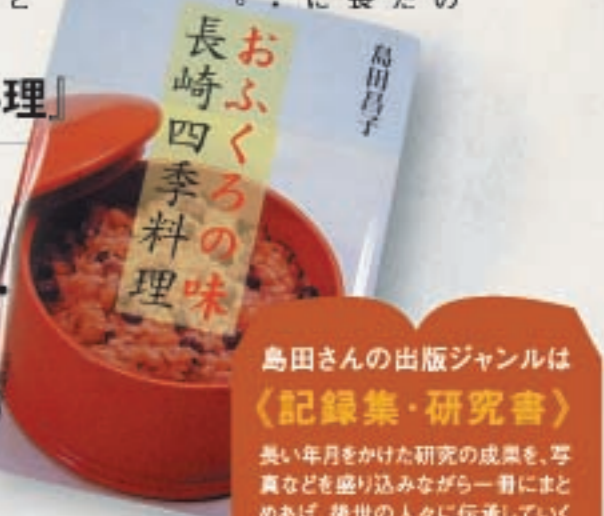
この本を通してみなさんに伝えたいこと
はただひとつ、「家庭料理は母の手作り
で、素材を大切に」でしょうか。今、食卓
には旬を問わずあらゆる産地からの食
材が並び、私たちの舌を満足させてくれ
ます。しかし、何分にも食は「元気の源」
ですから、できるだけ素材の旬と、地物
を摂ることの要請らしさを、この本を通
じて皆さんに伝えていきたいです。ぜひ、
今晚のおかずにご飯にいらっしやるお母
さん方に愛読していただけたら幸いです。

「母の『本』として残されて良かったと
思うのはどんな時でしょう。」
ラジオでの反響ももちろん嬉しかったの
ですが、何よりも、「本」として形に残った
ことが一番の喜びです。夕飯時、この長
崎のご家庭のどこかで、この本を片手に
お料理に奮闘される奥様がいらっしやる……
そんなことを思うと本当に嬉しいですね。
この本を手にもされるみなさんへ、
メッセージをどうぞ！

島田昌子さん『おふくろの味長崎四季料理』

この本を片手に、お料理に 奮闘される奥様がいらっしやる…… そう思うと、本当に嬉しいんです

北海道から鹿児島までを駆けめぐり、長年書きためたレシピを一通に、
郷土料理に懸ける、熱い想いを語っていただきました。



島田さんの出版ジャンルは
《記録集・研究書》
長い年月をかけた研究の成果を、写
真などを盛り込みながら一冊にまと
めあげ、後世の人々に伝承してい
くものです。

長いこと創作活動をお続けのようですが、
この本で何冊目になられますか？

創作活動を始めてから、もう50年が過
ぎました。第一作目の詩集『叙情の琴線』
を出したのが1952年。その後、詩集『風
象』、詩とエッセイ『魂の原野』、このよき
ものを、『詩集』遠島鳴』を出版し、この
『渇仰の遍路旅』の出版は5冊目となり
ますね。他に、共同著作で「おもしろい授
業」『主體的児童詩教育の理論と方法』
『日本の原爆文学・詩歌編』アンソロジー
『世界の原爆詩集』などがあります。

「魂の原野」このよきものをの出版が、
先生との最初の出会いだったと
思いますが、

そうですね。あれは私の三作目で197
6年出版ですから、もう30年ほど前にな
ります。ちょうど長崎でも、「自費出版」
というものが盛んになった年でした。

山口さんの出版ジャンルは
《詩集・歌集》
四季の美しさや、ふとした出来事を、
限られた字数のなかに凝み込んでゆ
く……。長年書きためた作品を何かの
記念日にまとめる方も多いようです。

この『渇仰の遍路旅』の出版を
思い立たれたきっかけは？

40余年の勤めを終え、徒々の時をかつ
ている折に、文芸誌『岬』を主宰される風
木雲太郎先生から「『岬』を自分との出
会いの場所にしたらいかがですか。言葉
による自己確認は必要だと思います。」と
いうお言葉を頂戴したのが機軸です。「岬」
に加えて載って8年余……。その間に書か
せて戴いた詩23篇とエッセイ7編で、詩文

この本の
ここがステキ！

日常風景の移ろいを、時と
死生を見据えた深い洞察
力で綴られています。

集『渇仰の遍路旅』を編むことができま
した。風木先生からの一枚の葉書が動機
へとつながったのです。
風木先生との出会いがなければ、出版
には至らなかったでしょう。そして、当然
のことながら表現したいと胸をこつけれ
る意欲。さらに、やはり最後は出版のタ
イミングでした。この3つの要因が相互
に重なって、今回出版することが出来た
のだと思っています。この度は、期待とお
りの本が完成し、本当に満足しています。

次号は……
◎朝鮮通信使の歴史を長年に渡りカメ
ラで追いかけた仁位孝雄さん著
『朝鮮通信使の道』
◎北朝鮮をさまよった苦難の日々を種に、
故郷五島の人々との出会いや日常を
心温まるエッセイで綴った、瀧口順子
さん『雪の軌跡』
このお2人をご紹介します。お楽しみに……！

グループのみなさんに
朗報!

みなさまのコミュニティスペースとして
ぜひ、サロンゆるりをご利用ください。



コミュニティスペース 10名様程度のミーティングや勉強会等にご利用いただけます。

グループでご利用の場合

ご利用料金・1時間 / 300円

(電気・空調・給湯室利用代として)

◎平日(月～金) 10:00～21:00

◎土・日 10:00～17:00

所定の申込み用紙にご記入いただき、サロン受付にて**3日前まで**にお申込みください。お電話でもお受けいたしますが、ご来店の際に申込み用紙にご記入をお願いいたします。

※なお、ご利用料金は、財団法人日本ユニセフ協会への寄付金とさせていただきます。

閲覧
コーナー

新刊
コーナー

受付

ご相談
コーナー

入口

無料 本づくり相談会開催

本づくりテキスト
もれなく送呈!

11/20日・12/18日

●午後1時～3時まで ●場所/サロンゆるり

当サロンのアドバイザーが、原稿執筆からご相談に応じます。本に興味のある方などなたでもご参加いただけますのでどうぞお気軽にお申し込みください! ...お申し込みは、当サロンまでどうぞ!



サロンゆるりへ遊びにきませんか!

阪橋電停から徒歩2分! 眼鏡橋すぐそば。駐車場もございます。

できるだけ多くの皆さんに来ていただきたいから、当サロンは浜の町からもすぐの場所にあります!ぜひ、お近くにお越しの際には、足を運んでみられませんか。

〈営業時間〉

平日 あさ10時～よる9時まで
土・日 あさ10時～夕方5時まで

平日は、夜9時まで営業いたします。
お仕事の後に、お買い物の後に、ぜひお立ち寄りください!

自費出版サロンゆるり

サロン
直通

TEL.095-828-1790 FAX.095-823-8740

本・づ・くり・交・換・情・報・紙



平成16年10月25日発行

創刊号【秋号】

年4回発行【10月・1月・4月・7月】

自費出版サロンゆるり

〒850-0875 長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F

TEL.095-828-1790 FAX.095-823-8740

株式会社 昭和堂

◎制作・発行

〒854-0036 諫早市長野町1007-2

TEL.0957-22-6000 FAX.0957-22-6690

自費出版ってよく耳にするけど、なんだか敷居が高そう...なんて感じていたらつしやる方、多いのではないのでしょうか。しかし、自費出版は、歌を歌うように、絵を描くように、自分を表現する手段の一つ。心に描きたい想いがあれば、誰でも創ることが可能です。そして、そんな想いで本を出版された方が地元長崎にもたくさんいらっしゃいます。表現する喜びを、もっとたくさんの方に味わってもらいたい...。そんな願いから、サロンゆるりは誕生しました。皆様に愛されるサロンを目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

つれづれ
編集後記

